

1級管工事・実地合格率67.8%で約20%[※]の大幅アップ！ 2級学科50.1%実地37.9%で例年並み

- 今回発表のあった合格率は下表の通り。
- 1級管工事の合格率が昨年 49.2 %から 67.8 %と大幅に上昇した。試験実施団体では、合格基準は昨年通りで変更はないとコメントしており、合格基準をクリア出来た受験者が増加した結果としている。

() 内は昨年実績

級別	学科	実地
1 級		67.8 % (49.2)
2 級	50.9 % (50.7)	37.9 % (37.1)

コメント

- 24年問題と昨年問題を比較すると、
問題NO1の出題内容は前年より取り組み易い内容であったかと思われる。施工要領図、系統図等も過去に出題された類似問題で正解率は高かったことが想定される。
問題NO2, NO3の選択問題も過去出題問題であり、記述の準備を怠らなかった受験者は余裕を持って記述出来たことと思う。
NO4, NO5のネットワーク、安全管理の選択問題は、過去問題のいつも通りの繰り返しに近く、ネットワークが短縮手法で新味があり手こずった受験者もあったかと思われるが、**NO5**の安全管理（労安法）のハコ入れ問題は過去問題との類似性が高く、正解率も高い。**NO4**のネットワーク問題を選択して正解率が低かった方は、どちらを選択すべきか、またどちらで受験準備をすべきか、一度検討することも必要では。
NO6 施工経験記述問題 は記述テーマが**工程管理、材料・機器の受け入れ検査**。いずれも過去に繰り返し出題されているテーマです。これが書けないのでは、準備不足と云う他なく、残念だった方は、過去問題はすべて答えられる力を付けて下さい。
- 合格された方、立派です。学科試験から結構大変でしたでしょう。出題範囲も広いですからね。

専任講師 松永勝宣